

平成 20 年 10 月 24 日

各 位

東京都台東区上野 1 丁目 15-3

会 社 名  株式会社 ナガホリ

代表者名 代表取締役社長 長堀慶太

(コード番号 8139 東証第 2 部)

問合せ先 常務取締役管理本部長 笹岡悠一

(TEL. 03-3832-8266)

平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期の第 2 四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. (個別) 第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 9 日発表)	8,000	170	100	50
今 回 予 想 (B)	7,543	153	69	△31
増 減 額 (B-A)	△457	△17	△31	△81
増 減 率 (%)	△5.7	△10.0	△31.0	△162.0
前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	7,884	101	81	49

2. (連結) 第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 9 日発表)	8,700	200	110	60
今 回 予 想 (B)	8,221	143	23	△89
増 減 額 (B-A)	△479	△57	△87	△149
増 減 率 (%)	△5.5	△28.5	△79.1	△248.3
前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	8,382	97	53	12

3. 修正の理由

(1) 個別

売上高は、景気の減速に伴う個人消費の停滞により高額品の売上が伸びず期首予想比約6%の減収となる見込みです。営業利益につきましては、通常営業に起因するものはほぼ予定通りとなりましたが、8月以降の金、プラチナ等地金相場が急落し、棚卸資産に17百万円の評価損が発生し、売上原価の上昇となり営業利益が減少いたしました。経常利益につきましては、プラチナ先物取引の評価損が43百万円発生し、経常利益が減少いたしました。四半期純利益につきましては、保有有価証券の評価損70百万円が発生し、四半期純利益が減少いたしました。

(2) 連結

売上高につきましては、個別と同様に高額品の売上が伸びず、期首予想比5.5%の減収となる見込みです。営業利益につきましては、棚卸資産につき連単合計で78百万円の評価損が発生し、営業利益が減少いたしました。経常利益につきましては、個別と同様の理由により減少いたしました。四半期純利益につきましては、連単合計で保有有価証券の評価損71百万円を特別損失に計上した結果、四半期純利益が減少いたしました。

以 上